

報道関係者各位

2022年7月26日
株式会社ネクストビート

次年度に向けた「保育士採用」が本格的にスタート。
保育士の求職希望・園の求人ともに正社員の比率が上昇

保育業界に特化した調査・研究を行う機関「保育士バンク！総研」を運営する株式会社ネクストビート（本社：東京都渋谷区、代表取締役：三原誠司）は、当社が展開する、保育士・幼稚園教諭向け転職支援サービス「保育士バンク！」の利用実績をもとに、保育士の就職活動の実態調査を実施いたしました。この度、調査結果をまとめましたので、概要をお知らせします。

■保育士の就職活動 実態月次調査（2022年6月）

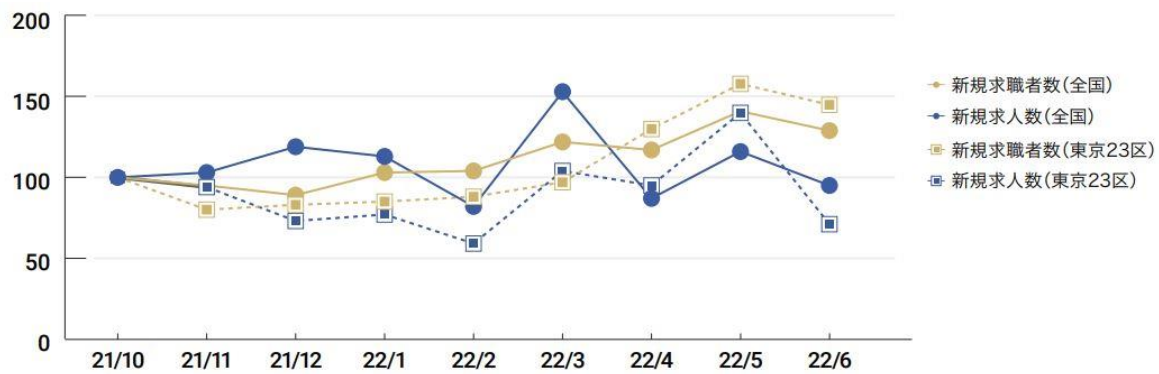
～ 3つのポイント ～

1. 保育士就職・転職市場の分析において、有料職業紹介を利用している求職者数と求人数の推移を計測。2021年10月を起点とした場合、毎月の新規求職者数は同水準を継続的に上回っている一方、保育園側の新規求人数は2022年4月と6月は同水準を下回った。新規求人数は月ごとの変動が大きいため、今後も動向を注視していく。
2. 雇用形態別で見ると2022年4～6月では、保育士の求職希望・園の求人ともに正社員の比率が上昇し、パートの比率が減少している。正社員での就職を希望している保育士と、正社員を募集している園にとって ニーズが合致する可能性が上昇している。
3. 採用タイミングは、次年度採用の比率がさらに伸びて30%を超えている。直近の採用と共に、次年度の採用に向けて計画的に動き始めている園が多くなっている。

ポイント1：保育士の新規求職者数と新規求人数のトレンド

*2021年10月を100とする

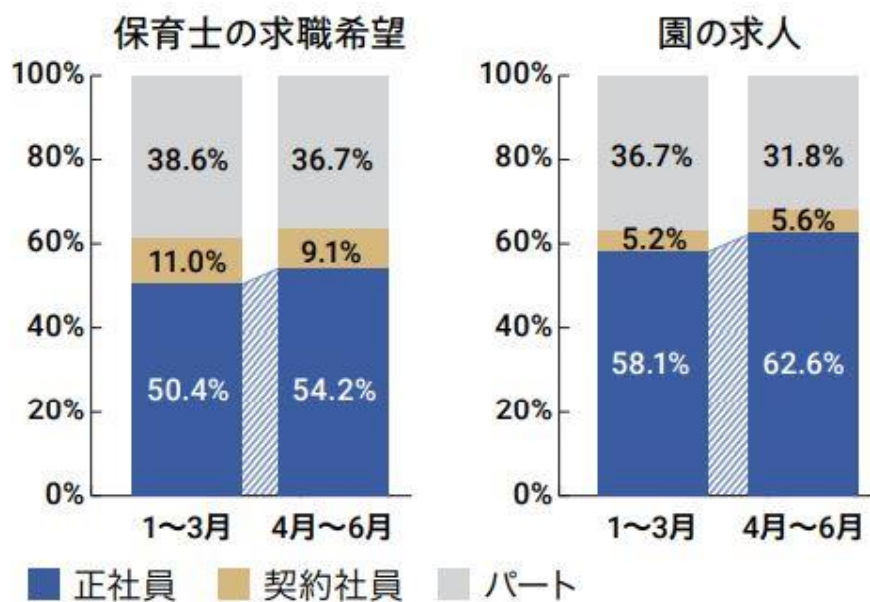
保育士バンク！の利用実績を元に、月ごとの求職者数と保育園・幼稚園等の求人数の新規登録数実績を、時系列で算出。



ポイント2：雇用形態の希望と募集状況

*2022年4～6月

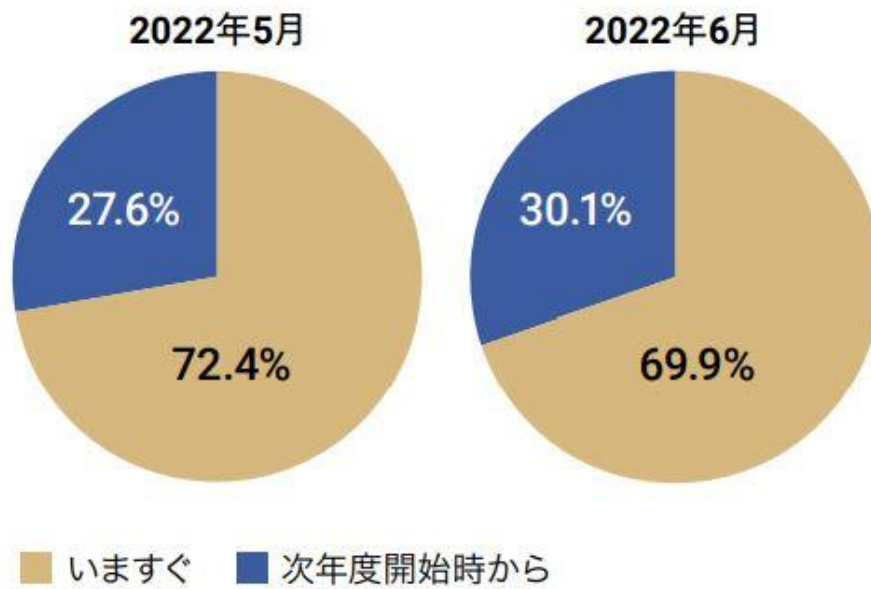
保育士バンク！の利用実績を元に、直近3か月の保育士求職者の希望と園の募集要件で、正社員・契約社員・パートの雇用形態の割合を算出、前期間と比較。



ポイント3：採用タイミング

*2022年6月

保育士バンク！の利用実績を元に、当月の園の募集要件で、入職するタイミングが「いますぐ」なのか「次年度開始時」なのかの割合を算出、前月と比較。



保育士バンク！総研は、月次で保育士の労働市場についての動向を発信してまいります。

※本調査を引用いただく際は、出所として「保育士バンク！総研」と明記してください。

2022 | 6月

保育士の就職活動実態 月次調査

3つのポイント

- 1 保育士就職・転職市場の分析において、有料職業紹介を利用している求職者数と求人数の推移を計測。2021年10月を起点とした場合、毎月の新規求職者数は同水準を継続的に上回っている一方、保育園側の新規求人数は2022年4月と6月は同水準を下回った。新規求人数は月ごとの変動が大きいため、今後とも動向を注視していく。
- 2 雇用形態別で見ると2022年4~6月では、保育士の求職希望・園の求人ともに正社員の比率が上昇し、パートの比率が減少している。正社員での就職を希望している保育士と、正社員を募集している園にとってニーズが合致する可能性が上昇している。
- 3 採用タイミングは、次年度採用の比率がさらに伸びて30%を超えている。直近の採用と共に、次年度の採用に向けて計画的に動き始めている園が多くなっている。

ポイント1

保育士の新規求職者数と新規求人数のトレンド (2021年10月を100とする)

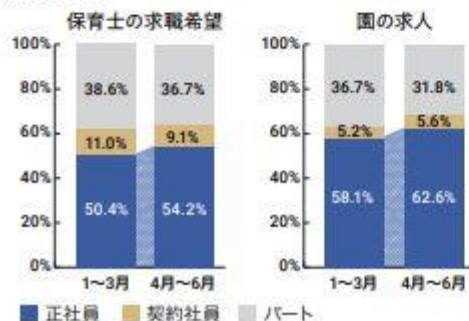
保育士バンク!の利用実績を元に、月ごとの求職者数と保育園・幼稚園等の求人数の新規登録数実績を、時系列で算出。



ポイント2

雇用形態の希望と求人の募集状況 (2022年4~6月)

保育士バンク!の利用実績を元に、直近3か月の保育士求職者の希望と園の募集要件で、正社員・契約社員・パートの雇用形態の割合を算出、前期間と比較。



ポイント3

採用タイミング (2022年6月)

保育士バンク!の利用実績を元に、当月の園の募集要件で、入職するタイミングが「いますぐ」なのか「次年度開始時」なのかの割合を算出、前月と比較。



レポート内容についてのお問い合わせ

株式会社ネクストビート: <https://www.nextbeat.co.jp/contact/>

※データ出典: ネクストビート「保育士バンク!」2022年6月30日付け 利用者データ



保育士バンク! 総研

※報告書内の数値は、小数点以下第二位を四捨五入

【調査概要】

調査方法：保育士バンク！の利用実績をもとに、月ごとの保育士の

求職者数と保育園・幼稚園等の新規登録数実績を分析

調査期間：2021年10月～2022年6月

対象者：保育士バンク！利用者

※保育士バンク！にご登録いただいている全国の施設、求職者のデータを

もとに統計化したデータで集計

実施主体：株式会社ネクストビート 保育士バンク！総研

■保育士バンク！総研について

「保育士バンク！総研」は、保育業界に特化した調査・研究機関です。少子高齢化が進む中、変わりゆく保育労働市場を見通し、課題に向き合い、解決に寄り添うことで、保育業界に貢献することを目的として設立いたしました。保育領域における複数の事業展開で培ってきた業界知見やノウハウをもとに、最新テーマの研究や調査を実施し、保育に携わるすべての方にとって有益な情報の発信につとめています。

<https://www.nextbeat.co.jp/news/10247>

■保育士バンク！について

「保育士バンク！」は、累計35万人（有資格者27万人）以上にご登録いただいている日本最大級の保育士・幼稚園教諭専門の就職転職支援サービスです。北海道から沖縄まで47都道府県の求人を扱い、キャリアアドバイザーによる個別相談の他、全国で就職・転職フェアを定期開催しております。株式会社日本マーケティングリサーチ機構が実施したブランドイメージに関する調査の結果、お客様満足度/認知度/好感度の部門で1位を獲得するなど、高い支持を得ています。また、令和3年11月には「適正な有料職業紹介事業者」として厚生労働省により認定されました。

<https://www.hoikushibank.com/>

■株式会社ネクストビートについて

「人口減少社会において必要とされるインターネット事業を創造し、ニッポンを元気にする」という理念を掲げ、2013年に創業しました。人口減少に伴い多方面に広がる社会課題に対し、「ITの力」を駆使し、子育て支援分野を中心としたライフイベント領域・グローバル領域・地方創生領域という3本柱を軸に、専門職向けの人材紹介サービスや業務支援システム、メディア事業などを展開・拡張しています。

<https://www.nextbeat.co.jp>

※「ネクストビート」、「保育士バンク！」、「保育士バンク！総研」の名称及びロゴは、株式会社ネクストビートの商標または登録商標です。

以上